

研修会のご案内

日本野鳥の会会津支部

身近な自然の美しさや面白さをもっと知ろうと生物の生態に詳しい研究者の視点から「会津の自然」をみようという企画であります。裏磐梯・猪苗代湖や尾瀬・只見等の会津地域は多様性のある自然環境を形成し、多くの生物が生息しています。しかし近年、開発工事や放棄地の増加、外来種の分布の拡大など生物生息環境の変化が心配されるようになりました。今回の研修会では、このような現状にある会津地域の生物の話題についてお伝えします。福島県内の生物調査で出会った動物たちのエピソードという珍しく貴重な講演が中心であります。また野鳥の会で実施している猪苗代湖北岸の鳥類調査報告も行います。今後の自然環境の保全や自然との共生を図る諸施策の広範囲な活動に参考にしていただければ幸いです。会員のみならず、自然環境に関心のある多数の方々の参加をお待ちしています。(この研修会は湖未来基金の助成を受けています。)

研修会 「会津・猪苗代湖の自然」 入場料 無料 一般公開

*日時 2019(R01)年 12月 21日 (土) 13時 30分から 15時

*場所 会津若松市 稽古堂 研修室 No.5,6

(連絡先：日本野鳥の会会津支部 Tel.0242-28-9713 林)

講演 1. 「身近な絶滅危惧種」 13:30～14:30

ー福島県レッドデータブックの調査で出会った動物たちー

講師 岩崎雄輔 (ザベリオ学園中・高等学校 教諭)

講演 2. 「猪苗代湖北岸の鳥類について 2018」 14:30～15:00

講師 林 克之 (日本野鳥の会 会津支部)



写真： オオコノハズクとコハクチョウ

